

オンライン探究基調講演

6月10日(木)6校時に高校1・2年生を対象に、長崎大学経済学部山口純哉准教授の「オンライン探究基調講演」を行いました。現在の長崎を経済という視点からとらえた地域経済の話と、山口先生が行っている福島復興支援の話をしていただきました。生徒の感想では、「物事を批判的に見る視点の大切さを知ることができた。」「長崎の人口流出の問題を具体的に知ることができ危機感を覚えた。」「駅にできる新しい施設による様々な影響について考えることができた。」「合成の誤謬、囚人のジレンマなどの用語をわかりやすく知ることができた。」「今後の探究活動では、固定概念にとらわれず、最終的に自分が何をしたいかを明確にして取り組みたいと思いました。」など、新しい視点を取り入れることができたという意見が多くありました。

7校時には、山口先生に質問がある生徒と、課題研究で地域経済のことを研究しようとしているチームの30名でトークセッションを行いました。そこでは、ベーシックインカム、LGBTや観光などについて意見を交換しました。また、生徒の皆さんの問題解決にかかる熱心な姿勢に触れた山口准教授からは、今後もコロナ禍の状況に応じてオンラインや対面で議論しましょうとの発言がありました。今回はこれから始まる課題研究の視点を考える良い機会になりました。ありがとうございました。(写真はトークセッション終了後の写真、長崎大学HPより)



長崎大学による 高大連携出前講座

6月16日(水)に高校2年生において、長崎大学から講師の先生をお招きし、高大連携出前講座を行いました。生徒たちは、次記10講座の中から自分の興味関心の高い講座を受講しました。

多文化(岩本佳子)・経済(吉沢裕典)・教育(前田桂子)・環境(利部慎)・構造工(源城かほり)・情報データ(高橋将宜)・電気電子工(中野正基)・医保健(鶴崎俊哉)・薬(大山要)・機械工(山口朝彦) ()は講師氏名 敬称略

当日は、最先端の研究内容や実験を交えた専門性の高い講義内容に、生徒たちも大きく刺激を受けたようです。受講後は「大学で学びたいという気持ちが非常に高まった」「探究の研究内容の参考になる内容があった」など、前向きな感想が多く寄せられました。コロナ禍でオープンキャンパスなどにも行く機会が限られる中、大学での研究内容に触れられる貴重な体験となりました。



写真：水環境の汚染実験(環境)

「いつもの学校の授業では知ることができないことを多く学べた。また、工学部のイメージが明確になったり変化があったりした。はじめは、工学部に対し「物づくり」のイメージがとても強かったが、お話を聞くうちに、人の生活環境の多くのことを考えられる学問なのだとわかった。特にオフィスでの緑の配置についてのお話には、驚くことがたくさんあり、工学部でもこのようなことを行っているのだとわかった。今後、進路について考える中で、今日気づいたことや学んだことを活かし、学部について考えていきたいと思う。」

構造工(演題：健康で快適な居住環境と省エネルギー知的生産性)を受講した生徒の感想文より